

# 緊急事態宣言

## コロナ 感染爆発

無症状感染者を保護・療養する検査など  
全面的な対策を求めました



### 知事選 かなみつ理恵さん挑戦

憲法がいきる明るい千葉県をつくる会（明るい会）は18日、千葉県知事選挙（3月4日告示・21日投票）に、**かなみつ理恵**（金光りえ）さん（写真中央）を擁立することを明らかにしました。

**かなみつ**さんは、選択制夫婦別姓、「安保関連法反対ママの会@ちば」などの運動にとりくんでいます。明るい会は、労働組合や医療、業者、女性、青年などの市民団体・個人で構成。政党では日本共産党が参加。

新型コロナ緊急事態宣言をうけて、日本共産党県議団と同千葉県委員会は1月18日、宣言後に1都3県の知事が行った国への要請や、県の対応をふまえ、知事あての要請書を県健康福祉政策課副課長に提出しました。

1都3県が要望した飲食店への営業時間短縮協力金の財源確保と関連事業者への支援、持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金の延長・再構築など事業者への十分な支援、生活困難者への支援拡充、医療人材の確保などは、緊急かつ有効であり、国と県が連携して実施するよう求めます。しかし現状をみると、医療関係者、高齢者施設等の関係者、飲食事業者、自治体職員、県民などが懸命に努力しているにもかかわらず、「宣言」後も感染拡大は減少するどころか、県内各地の医療機関や高齢者施設、学校などでのクラスター（集団

感染）発生がひろがり、日々、最多の新規感染者を確認するなど深刻な事態です。また、県内のコロナ患者用の病床使用率も6割を超え、重症者も増加し、病床ひっ迫が進行しています。検査の戦略的拡充など、感染急拡大を抑えるためのさらなる全面的な対策を講じなければ、いっそうの感染のまん延、「医療崩壊」は必至であり、県民の健康と命、社会経済活動への影響は長期にわたります。今、まさに極めて重大な局面を迎えています。

### 要 請 事 項

1. 無症状を含め感染者を放置、見逃すことのないよう濃厚接触者（積極的疫学検査）に限定せず、集団感染のリスクが高い医療機関、高齢者施設などでの定期的な社会的な検査および、感染急増地域における網羅的な「面の検査」を実施する戦略的な検査体制・仕組みづくりを早期に確立すること。
2. 感染追跡を行うトレーサーの確保、疲弊している保健所の人員増など体制強化のための緊急な特別の手立てをとること。
3. コロナ患者入院病床を確保している医療機関だけでなく、通常の診療・治療を担っている医療機関へも医療従事者の人件費を保障し、医療機関の経営を支える十分な減収補てんを行うこと。
4. 自宅待機の感染者が容態の急変によって命を落とすことはあってはならない。軽度者、無症状者は、入院またはホテルでの療養を原則とし、自宅待機は、あくまで例外とすること。そのために、必要な臨時医療施設、ホテルを確保し、速やかに入所できる体制を整えること。あわせて、現時点では自宅待機の感染者が多数いることから、過渡的な措置として、必要な食料品・日用品の欠くことのないよう対策を講じること。
5. 県の要請に応じ、営業時間短縮を行う事業者への「協力金」を、事業規模や雇用者数に見合う内容に改善し、さらなる拡充を図ること。



左から、くずはら茂党南部地区委員長、浅野ふみ子党県副委員長、さいとう和子前衆院議員、加藤英雄県議、みわ由美県議、宇野亨県健康福祉政策課副課長